

2022年6月14日

課題名：高出血リスク患者における大腿膝窩動脈領域への治療成績の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、高出血リスクのある患者さんに対して大腿膝窩動脈に血管内治療を行った症例の遠隔期の成績を調べています。本研究では、低侵襲な血管内治療を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年6月から、2020年6月までの間に、大腿膝窩病変に対して初めて血管内治療を受けられた患者さん。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、下肢症状、歩行機能、背景疾患（糖尿病、脂質異常症、高血圧症、冠動脈疾患、脳血管疾患、維持透析、慢性閉塞性肺疾患）、抗血小板薬、スタチン、採血データ（LDL-C、HDL-C、TG、eGFR）、治療時の血管造影所見（血管径、病変長、石灰化の有無、狭窄度、膝下動脈の開存枝数、解離）、治療翌日・6か月後・1年後・2年後のエコー所見（血管径、血流速）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
循環器内科 研究責任者 島裕樹

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明